

南朝正平十二年 北朝廷文二年七月二日

三一八

七月小 戌 朔 盡

二日、乙亥懷良親王、菊池武光ニ令シ、筑前桑原莊下地ヲ木屋行實ニ交付セシメラル、

〔木屋文書〕後○筑

(木屋)行實申兵糧料所筑前國桑原庄志摩郡代官致違亂由事、申狀如此、事實者早止彼妨、可避渡下地於行實旨、可被加下知之狀、依仰執達如件、

正平十二年七月二日

(五條賴元)勘解由次官 為

菊池肥(武光)後守殿

○懷良親王、桑原莊ヲ兵糧料所トシテ、行實ニ與ヘ給フコト、去年八月七日ノ條ニ見ユ、

山名時氏、因幡新興寺ニ、本知行地ヲ安堵セシム、

〔新興寺文書〕幡○因

本知行之地事、可令領掌之狀如件、

(山名時氏)左京大夫

正平十二年七月二日

御判